

- 問1 東南アジアに位置する、赤道付近の多くの島々から構成される国について説明した文として正しいものを、次の語句の中から一つ選びなさい。
この国は東南アジアで最大の人口を抱えており、国民の約9割がイスラム教を信仰しているという特徴があります。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. ベトナム 2. マレーシア 3. フィリピン 4. インドネシア
-
- 問2 世界の主要国の統計を比較した際、人口が14億人を超え中国と並び世界最大級の規模を持ちながら、一人当たりの国民総所得（GNI）が中国やブラジル、日本などと比較して依然として低い水準にあり、同時に著しい経済成長を続けている国はどこか、名称を答えなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. オーストラリア 2. インド 3. 中国 4. ブラジル
-
- 問3 アメリカ合衆国のヒューストンと、インドのベンガルールのように、経度が約180度離れている都市間で業務を分担するビジネスモデルがあります。このように、大きな経度差がある地域間で連携することによって得られる、業務上の最大の利点は何ですか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 使用する標準時が一致しているため、リアルタイムでの会議が容易な点 2. 昼夜の逆転を利用することで、二十四時間体制で効率的に業務を継続できる点 3. 地理的な距離が近いため、航空機を用いた人の往來を低コストで行える点 4. 緯度が共通しているため、気候による作業効率への影響を最小限にできる点
-
- 問4 中国における1980年から2050年までの年齢別人口構成の推移をまとめた統計において、将来的にその割合が低下し、製造業などにおける労働力不足を招くと懸念されている「15歳から64歳」の人口区分を何と呼びますか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 年少人口 2. 生産年齢人口 3. 非労働力人口 4. 老年人口
-
- 問5 中国における農産物の生産地域の特色について述べた文として、自然環境（気候）との関係からみて最も適切なものを選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 降水量の多い長江流域など南部では稲作が盛んで、比較的乾燥した華北平原など北部では小麦の生産が盛んである。 2. 地形が平坦な全土で米と小麦が均一に生産されており、地域による明確な作り分けは見られない。 3. 寒冷な気候である北部で米の二期作が行われ、温暖な南部で小麦の栽培が集中している。 4. 内陸部の乾燥地帯で大規模な稲作が行われ、沿岸の潤潤な地域で小麦の輸出用栽培が行われている。
-
- 問6 西アジアに位置するある国の2017年の輸出統計において、輸出総額は約1,570億ドルとなっており、輸出品目では自動車は14.9%で最も多く、次いで機械類が13.9%、衣類が9.6%を占めています。また、最大の輸出相手国がドイツであるこの国はどこですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
1. アラブ首長国連邦 2. トルコ 3. サウジアラビア 4. ロシア
-
- 問7 東南アジアの諸地域において、現地の気象局が季節風（モンスーン）の到来を公式に発表し、それがニュースとして大きく報じられる背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 季節風が吹くと気温が氷点下まで下がり、冷帯のような厳しい冬が始まるため 2. 一年中安定して吹き続ける風を利用した、風力発電の開始時期を決定するため 3. 降水量の増減が農作物の作柄を左右し、市場の物価に大きな影響を与えるため 4. 夏季に降水が極端に少なくなる地中海性気候への対策を講じる必要があるため
-
- 問8 東南アジアのタイにおける自動車工業の特色について、工場の進出状況と主な輸出先を組み合わせた説明として正しいものはどれですか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
1. タイの地元資本による企業を中心に、政府の保護政策のもとで国内市場向けに生産している 2. 日系企業を中心とした工場が集中しており、ASEAN諸国など近隣のアジア市場を中心に輸出している 3. ヨーロッパ系企業が内陸部に工場を建設しており、陸路を利用して中国やインドへ輸出している 4. アメリカ系企業が主に進出しており、北米自由貿易協定を利用してアメリカやカナダへ輸出している
-
- 問9 ベトナムやインドネシアといった国々とシンガポールを比較した統計において、日本企業の進出数と現地の経済状況の関係性を説明したものととして、正しいものはどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. 平均賃金が高い国ほど、安価な労働力を求める日本の製造業の進出が活発になる傾向がある 2. 平均賃金が高い国ほど、生産コストの削減を目的とする日本の製造業が進出しやすい傾向がある 3. シンガポールのように平均賃金が高い国では、低賃金の国に比べて工場などの進出数が急増している 4. 日本企業の進出数は、現地の平均賃金の高さに関わらず天然資源の産出量のみで決定される
-
- 問10 中国の地域別の経済状況について、上海や広東などの沿海部では一人あたり平均年収が約3万～4万元に達しているのに対し、甘粛や貴州などの内陸部では約1.7万～2万元にとどまっているという統計があります。このようなデータが示している中国の課題として、正しい記述はどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 経済特区などが集中し発展を遂げた沿海部と、内陸部との間で所得の格差が広がっている。 2. 中国全土で一人あたり平均年収が均一化されており、地域による経済的な特徴は見られない。 3. 内陸部の経済成長が著しいため、沿海部から内陸部へ労働力が大量に移動している。 4. 内陸部は伝統的な重化学工業の拠点であるため、沿海部の商業都市よりも所得が高い傾向にある。
-
- 問11 アメリカ合衆国のシリコンバレーとインドのベンガルールという2つの都市の間では、情報技術（ICT）関連の研究開発において密接な協力関係が築かれています。インドのベンガルールが開発拠点として選ばれている理由のうち、両地点の経度の違いという地理的な条件を最大限に活用した説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 山口県公立入試 類似)
1. 英語が公用語の一つであるため、アメリカの技術者と円滑に意思疎通ができること 2. 両地点が地球のほぼ反対側に位置し、約12時間の時差を利用して24時間体制で業務を継続できること 3. 両地点が同じ北半球の中緯度帯に位置しており、季節の変化に伴う需要の変動が一致すること 4. インドの労働賃金がアメリカ合衆国に比べて安価であり、開発コストを大幅に削減できること
-
- 問12 1986年に「ドイモイ（刷新）」と呼ばれる政策を導入して市場経済化を進めたベトナムでは、2000年から2018年にかけて日系企業の進出が急速に拡大しました。この背景にある、ベトナムの経済状況と日本との関係についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
1. 一人当たりの国内総生産がタイやマレーシアより低く、安価で豊富な労働力を求めて多くの日本企業が進出した。 2. 進出日本企業数が急増した理由は、ベトナムが東南アジアで最大の人口を持ち、最大の輸出相手国が日本だけに限定されているためである。 3. 主な輸出相手国は中国とアメリカに限定されており、日本との貿易額はドイモイ政策の開始以降、減少傾向にある。 4. 一人当たりの国内総生産がすでに日本と同水準に達したため、日本企業は製造拠点としてではなく、主に高級品の販売市場として進出している。